

進捗報告

氷見夏輝

富山県立大学
u220051@st.pu-toyama.ac.jp

November 17, 2025

中間発表の報告

2/1

指摘された点

- ・ 3Dグラフがなにを何を示しているかすぐにわからない。
- ・ 3Dグラフにする必要はない。
- ・ 2Dと3Dを検証してアンケートをとる。

考えうる改善策

3/1

対処法1

最終の結果は2Dネットワークグラフで出力する。
手法：pyvisで2D描画を行う。

pyvis

Pythonでインタラクティブなネットワーク図を作成、可視化するためのライブラリ。

対処法2

最終の結果はヒートマップ、棒グラフで出力する。
ヒートマップ：縦横に単語を並べた「共起行列」を作り、関係の強さを色で表現する。
棒グラフ：中心の単語と最も共起する単語をだす。

今後の方針

4/1

すること

中間発表で指摘されたことをもとに卒論の構想を考える。
自分なりのプログラムを形にする。